



KUMAMOTO

# GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international



人類に  
奉仕する  
ロータリー

2016~  
2017年度  
テーマ

国際ロータリー

「人類に奉仕するロータリー」

R.I.会長 ジョン.F.ジャーム

地区方針

「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」

R.I.2720地区 ガバナー 前田真実

熊本グリーンRC

「ロータリーを育て行動しよう」

熊本グリーンRC会長 河島一夫

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河島一夫 ■幹事：葉高源 ■会報担当：長野義文  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー  
第2720地区

## 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2017年2月13日】

第1247回

2016-2017年度 第27回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

「我等の生業」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (河島一夫 会長)

- ・熊本第3グループガバナー補佐 松本 繁氏
- ・熊本第3グループガバナー補佐幹事 白木誠一氏
- ・熊本中央RC 大熊 暢子 君

友情の握手

会長スピーチ (河島一夫 会長)

一昨日の11日に地区チーム研修セミナーに地区副幹事として手伝いに行ってきました。場所は、市民会館大会議室でした。永田壯一ガバナーエレクトの国際協議会の報告がありました。もちろん、我がクラブから大友ガバナー補佐エレクトも出席されています。国際協議会の会場はアメリカ、カリフォルニア州サンディエゴで5日間みっちり行われたそうです。次年度のR I会長は、オーストラリアのイアン・ライズリーさんで公認会計士です。オーストラリア訛りがあまりない方だったそうです。R I会長のテーマは「ROTARY:

Making a Difference」(ロータリー:変化をもたらす)と決定しました。永田壯一ガバナーエレクトのテーマは「ロータリーを奨励し、ロータリーを楽しもう」だそうです。ロータリーの目指す三つの戦略的目標、すなわち「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」についての具体的目標を設定したとして、女性会員を増加し、40歳以下の次世代の会員を育成し、会員増加に努める。あと少しのポリオ撲滅を実行する。その他の人道的奉仕活動は持続的・継続的にR Iがサポートするというようなことを言われました。

幹事報告 (葉高源 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①2017~08年度 地区研修・協議会 開催日程のご案内

開催日：平成29年4月9日(日)

9:00登録開始/10:00点鐘

場 所：熊本学園大学

出席義務者：次年度ガバナー補佐、次年度会長、幹事、会長エレクト、6常任委員長、米山担当長

### 卓話予定

- 2/20 「和装教育について」 河野 景治会員卓話
- 2/27 「熊本グリーンRC創立28周年記念例会」
- 3/6 熊本グリーンRAC活動報告~アクトとの合同例会

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

■ 例会変更・取止め

<変更>

【熊本東RC】

2月21日(火)の例会は東釜山RCとの姉妹クラブ締結延長式のため、同日19:00より、熊本ホテルキャッスルにて行います。

<取止め>

下記の例会は定款第6条第1節に基づき取りやめます。

出席報告 (山下 佳介 会員)

	会員総数	22名	出席率
2月13日	出席免除会員数	1名	61.90%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	13名	
1月30日	前回の出席会員数	12名	61.90%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	13名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
2/13 熊本南RC 仙波 君			

委員会報告

2月の卓話プログラム変更

報告者河野 景治プログラム担当長  
次週の2月20日(月)が「熊本グリーンRC創立28周年記念例会」となっておりますが、他の会合と重なり、会長、幹事がご欠席とされますので、1週延期して2月27日(月)に開催致します。又、次週は「和装教育について」という演題にて河野委員長が卓話を行います。

スマイル (栗山 義則 会員)

●松本 繁熊本第3グループガバナー補佐  
「本日は卓話をさせていただきます。お聞き苦しいとは思いますがどうかご辛抱下さい。」  
●白木 誠一熊本第3グループガバナー補佐幹事  
「今日で3回目のクラブ訪問です。立春、啓蟄と過ぎて暖かい風がもうそこまで来ています。インフルエンザが流行ってますので、

体を大事に!!  
●河島 一夫 君、葉 高原 君  
「松本繁ガバナー補佐様と白木ガバナー補佐幹事様と熊本中央RCの大熊様の御来訪を歓迎致します。寒くなりました。お体を御自愛下さい。」  
●仙波 洋八 君  
「松本ガバナー補佐、白木ガバナー補佐幹事。ご多忙の中にご指導卓話をいただき、有難うございます。会員増強も思いのままにならず苦闘していますので、気合いを入れて頂ければ幸いです。」  
●松村 秀逸 君  
「久しぶりの出席です。1月31日の新春の集いには、たくさんの皆さんに出席頂きありがとうございます。又、先日の父の葬儀に際しましては皆様方にお忙しい中、御会葬いただき、御供花も頂き誠にありがとうございました。御礼にスマイル致します。本日は申し訳ございませんが早退させていただきます。」  
●上田 観一 君、十時 義七郎 君  
「本日は松本繁ガバナー補佐様の卓話楽しみにしていました。宜しくお願い致します。」  
●河野 景治 君、大友 利行 君、長野 義文 君、荒木 一之 君、栗山 義則 君  
「本日の卓話者、松本繁ガバナー補佐様に心から感謝致します。」

3. 例会プログラム

卓話者

松本繁熊本第3グループガバナー補佐

「古稀を迎え70年、そしてロータリーについて」



4. 閉会・点鐘

臨時理事会開催



# ハイライトよねやま 203

2017年2月13日発行  
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

## 寄付金速報 — 下期の寄付状況 —

1月までの寄付金は前年同期と比べて5.6%減（普通寄付金2.6%増、特別寄付金9.8%減）、約6,100万円の減少となりました。前年度と比較すると減少額は大きいですが、累計金額としては直近5年間のほぼ平均額となります。

1月は普通寄付金（クラブで決定した金額×会員数分でお送りいただく定期寄付）下期分の納入が主になります。今年度は1月末までに全クラブの76%、1,718クラブから納入いただきました。引き続きご協力賜りますようお願いいたします。

## 2017学年度米山奨学生の選考を全地区で実施

2017年4月採用の新規米山奨学生の面接選考が12月から1月末にかけて、全国34地区の各選考委員会によって行われました。指定校からの申込者1,358人のうち、学部・修士・博士課程奨学金と地区奨励奨学金を合わせた586人（枠）が合格予定です。現在まで報告を受けた合格者の出身国・地域は、中国、ベトナム、韓国、台湾、モンゴル、マレーシアなどが多くなっています。

今後、他の奨学金合格等による辞退・繰上げによって、人数と国籍の変動が見込まれます。このほか、現役奨学生の延長制度であるクラブ支援奨学金には2人が合格しました。海外からの個人直接応募制度の海外応募者対象奨学金、および、海外学友会推薦奨学金は現在選考中です。2017学年度の奨学生数は、新規合格者と昨年度からの継続奨学生を合わせた780名（枠）となります。

## 副理事長就任のお知らせ



前副理事長、杉谷卓紀氏（玉名RC）のご逝去に伴い、当財団規程に基づき、役員候補者指名委員会で副理事長候補者を選任し、理事会にて承認されました。

2017年2月1日付で、<sup>はなわ</sup> <sup>はるお</sup> 堀 東男氏（第2820地区 笠間RC、現常務理事）が公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 副理事長に就任しましたことをお知らせいたします。

## 貧困学校支援プロジェクトを実施 — タイ米山学友会 —

タイ米山学友会が1月21日、タイ国中部のスパンブリー県にあるワットブングカー学校を訪問し、「貧困学校支援プロジェクト」を実施しました。参加者は、タイ米山学友会の会員12人と、その家族・友人ら、合わせて28人。ワットブングカー学校からは、教職員4人と、児童40人が参加しました。

当日は、タイ学友会の会員をはじめ、企業や一般の方からの支援で集まった、現金や文房具、制服、スポーツ用品など、勉強と生活に必要なものが児童たちに提供されました。また、参加者は、児童たちと一緒にゲームをしたり、お菓子やアイスを食べたりして、交流を楽しみました。

タイ米山学友会幹事のワシン・テイシャシャイニランさんは、「勉強する環境に困ることなく、子どもたちの輝く未来を願っています」と、活動に参加した学友たちの思いを報告してくれました。



## スリランカ米山学友会が第1回総会を開催

スリランカ米山学友会の第1回総会が1月7日、コロンボ郊外のマハラガマで開催され、ラクナース・ガマガ会長（1993-95/宇部西RC）をはじめ学友7人が出席しました。

総会では1年間の活動報告のほか、今後の総会開催時期について検討がなされました。また、幹事長補佐をつとめるサマンタ・テリッジゴダさん（2000-01/羽島RC）が、学生に向けたIT関連セミナーを行うことが決まりました。これは、日本留学で得た知識をスリランカの若者へ伝えていきたいという、学友会としての活動提案です。このほか数人の学友が役員に任命されました。

ラクナース会長は、居住地が離れているなどの理由で学友が集まりにくい実情をふまえたうえで、「われわれの学友会の価値を高め、より魅力的な存在となるために、今いるメンバーのさらなる努力が必要だ」と訴え、「個人レベルではなく、学友会という組織だからこそできるような活動をやっていこう」と、熱心に呼び掛けました。

創立1周年を迎える今年6月には、記念式典を開くとのことです。



## 第2620地区学友会がスリランカの子どもに文具寄贈

第2620地区（静岡県・山梨県）米山学友会では、副会長のペレーラさんの提案で、彼の母国スリランカの子どもたちに文房具を寄贈する奉仕活動を企画。学友会会員のほか、ロータリークラブや個人などから合計22万円の寄付を集め、それを元に129人分の文房具セットと鍵盤ハーモニカなどの楽器、図書館の図書908冊を購入し、現地の小学校に寄贈しました。

1月13日にスリランカ北部エリヤーワ村の小学校で行われた贈呈式には、同学友会役員4人と学友会に関わりの深いロータリアン2人を合わせ計6人が出席。一行は、全校生徒と先生、多くの村民から温かな歓迎を受け、贈呈後、生徒たちからお礼の言葉と歌が贈られました。また、その前日夜には、スリランカ米山学友会のラクナース会長ら3人のメンバーが駆け付け、国を超えた学友会同士の交流も実現しました。

第2620地区米山学友会の篠原暁恵会長は、「今回、スリランカの地方では、子どもたちに必要な文具や図書がとても不足していることを知りました。参加した役員全員、機会があれば、この有意義な事業を続けたいと思っています」と語りました。

